

新規事業採択時評価結果（令和5年度新規事業化箇所）

担当課：都市局 街路交通施設課
担当課長名：服部 卓也

事業の概要

事業名	地高ICアクセス 都市計画道路 庄の原佐野線 (下郡・明野工区)	事業区分	街路	事業主体	大分県
起終点	自：大分県大分市下郡南三丁目 至：大分県大分市明野西一丁目	延長	1.6 km		
<p>事業概要</p> <p>都市計画道路庄の原佐野線は、大分市内の放射状幹線道路網を補完する大分市内の東西骨格軸道路である。このうち、下郡・明野工区は、都市内交通の円滑化及び市街地や主要地方道大分臼杵線における渋滞解消、交通事故減少へつなげることを目的として、現在事業中の地域高規格道路大分中央幹線道路「庄の原佐野線（下郡工区）」のICへのアクセス道路として一体となって整備を行うものである。</p> <p>事業の目的、必要性</p> <p>当該事業の整備により、東西幹線軸としての機能が強化され、以下の事業効果が期待される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大幅な交通の転換による県道大分臼杵線の交通渋滞緩和、所要時間短縮 ・安全性の高い道路への転換、及び渋滞緩和による自動車交通の安全確保 ・渋滞緩和による救急車両の円滑な走行確保、路線バスの時間信頼性向上 ・浸水時における避難路の確保 					
全体事業費	270億円	計画交通量	28,300台/日		



関係する地方公共団体等の意見

- ・都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている。（R4.12.16 都市計画決定）
- ・大分市が事務局を務める「庄の原佐野線滝尾・明野地区促進期成会」等から、本事業の早期事業化の要望活動が行われている。

学識経験者等の第三者委員会の意見

- ・「大分県事業評価監視委員会」において、事業実施は妥当であるとの審議結果。

事業採択の前提条件

- ・費用対便益：便益が費用を上回っている。
- ・沿線自治体である大分市などから早期事業化の要望を受けており、また都市計画決定も完了（R4.12.16）するなど、円滑な事業執行の環境が整っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.6	総費用 178億円 事業費：177億円 維持管理費：1.2億円	総便益 288億円 走行時間短縮便益：263億円 走行経費減少便益：18億円 交通事故減少便益：6.6億円	基準年 令和4年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.5 (交通量 -10%)	B/C=1.8 (交通量 +10%)	
		事業費変動	B/C=1.5 (事業費 +10%)	B/C=1.8 (事業費 -10%)	
	事業期間変動	B/C=1.4 (事業期間 +20%)	B/C=1.8 (事業期間 -20%)		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	◎	・交通の転換により、並行する県道大分臼杵線の交通渋滞が緩和する。 ・県道大分臼杵線及び事業箇所周辺には主要渋滞箇所が10箇所存在するが、交通の転換により、都市内交通の円滑化が図られ、交通渋滞が緩和する。	
		事故対策	◎	・県道大分臼杵線の渋滞緩和により、交通事故の減少が図られる。 ・県道大分臼杵線（加納西交差点～明野南交差点間）では、年平均13件の渋滞に起因する交通事故が発生し、死傷事故率も県平均の約2.7倍と高くなっているが、交通渋滞の緩和により、交通事故の減少が図られる。	
	歩行空間	—	・注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活	◎	・本路線を通行することで、明野地区など大分市東部から第3次救急医療施設である大分県立病院までの搬送時間が短縮される。 ・県道大分臼杵線の渋滞緩和により、路線バスの時間信頼性が向上する。	
		地域経済	○	・大分市東西骨格軸のミッシングリンクを解消し、市内中心部と大分市東部のアクセス時間を短縮することで、地域間の連携強化が図られ、中心市街地の活性化に寄与する。（市内中心部～明野間 32分→16分）	
災害		◎	・浸水時でも通行可能な高架道路を整備することで、大規模災害時における広域防災拠点と市内中心部間の救援ルートが確保できる。		
環境		○	・交通渋滞の緩和により、県道大分臼杵線における沿道環境の改善が図られる。		
	地域社会	◎	・生活拠点である大分市東部～市内中心部を結ぶ幹線道路として、通勤・通学や買物等の日常生活の改善に寄与する。（市内中心部～明野間 32分→16分）		
事業実施環境			<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画決定完了（R4.12.16） ・沿線自治体である大分市や、沿線自治会で構成される「庄の原佐野線滝尾・明野地区促進期成会」などから早期事業化の要望活動が行われている。 		

採択の理由

事業主体である大分県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.6と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。
また、「庄の原佐野線（下郡工区）」のICアクセス道路として、大分市東部と中心部の都市内交通の円滑化が図られ、市街地や並行する県道大分臼杵線の渋滞解消、交通事故減少等が見込まれることから、当該事業の整備の必要性・効果は高いものと判断される。
以上により、本事業は令和5年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。